

日本史(Japanese History)

| | | |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 担当教員名 | 茶谷 翔 | |
| 学科, 科目詳細 | 建築学科 3年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義 | |
| 学習・教育目標 | (C)(H) | |
| 科目の概要 | 本科目では、幕末維新时期以降の日本近代史を概観し、その構造や変遷に対する理解を促す。また、これを通して現代の歴史的な位置や歴史・社会一般に対する思考力を養うことを目指す。 | |
| テキスト(参考文献) | 笹山晴生他『詳説日本史』山川出版社 詳説日本史図録編集委員会(編)『山川詳説日本史図録』山川出版社 | |
| 履修上の注意 | 単なる語句の暗記に留まらず、“歴史をどのように捉え、説明するか”(流れや因果関係)を理解していきたい。授業計画は必要に応じ補正し、質問や要望は可能な限り対応する。 | |
| 目標達成度(成績)の評価方法と基準 | 合格の対象としない欠席条件(割合) | 1/3以上の欠課 |
| | 筆記試験(70%) 提出課題(20%) 出席状況と授業参加態度(10%) 60点以上を合格とする。 | |
| 連絡先 | dibuboj.eipv.091110@gmail.com | |

| 授業の計画・内容 | |
|---------------------------------|--|
| 第1週 序論 歴史とは何か (1) | |
| 第2週 序論 歴史とは何か (2) | |
| 第3週 日本の近世社会と開国 | |
| 第4週 攘夷運動から明治維新へ | |
| 第5週 明治国家の形成(1) | |
| 第6週 明治国家の形成(2) | |
| 第7週 明治国家の形成(3) | |
| 第8週 中間試験 | |
| 第9週 自由民権運動の展開と松方財政 | |
| 第10週 明治憲法体制の成立 | |
| 第11週 条約改正と日清戦争 | |
| 第12週 政党の抬頭と日露戦争 | |
| 第13週 日露戦後の社会 | |
| 第14週 近代化の諸相(1) | |
| 第15週 近代化の諸相(2) | |
| 期末試験 | |
| 第16週 第一次世界大戦と政党政治の展開(1) | |
| 第17週 第一次世界大戦と政党政治の展開(2) | |
| 第18週 第一次世界大戦と政党政治の展開(3)・大衆社会の現れ | |
| 第19週 恐慌の時代 | |
| 第20週 政党政治の崩壊と「挙国一致」 | |
| 第21週 日中戦争の勃発と戦時体制突入 | |
| 第22週 第二次世界大戦の勃発と新体制の模索 | |
| 第23週 中間試験 | |
| 第24週 太平洋戦争(1) | |
| 第25週 太平洋戦争(2) | |
| 第26週 戦後世界秩序と日本の戦後体制 | |
| 第27週 冷戦の開始と占領の終結 | |
| 第28週 冷戦構造・55年体制・高度経済成長 | |
| 第29週 冷戦の終結と日本 | |
| 第30週 現代の日本と世界 | |
| 期末試験 | |